

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はびねすくらぶ北坂戸		公表日		2026年4月5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・学習と室内運動スペースも広い。 ・個々にあった過ごし方が出来る。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・段差がある。 ・まだ努力は必要だと思う。	安全に配慮し今後対応していきたいと 思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・運動と学習の場所がしっかりと視覚的にも 分かれている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	・部屋はないが個別で対応できるよう工夫 している。		
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・上手くいったときは他従業員に共有が あるため児童も職員も意図をもって支援に あたりやすい。 ・ミーティングの際に振り返りを行っている。			

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		保護者の意向を聞き、今後も業務改善につなげていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		ミーティングなどで今後も職員の意見を聞き改善につなげていきたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			・ホームページで公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			・定期的なモニタリングを行い作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			・児発管が作成した個別支援計画書をもとにミーティングで話し合いをしている。 ・職員みんなに伝わっていないところがあると思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3	・地域支援、地域連携がまだ努力が必要だと思う。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・週3プールのほか、政策や体幹、運動、サーキットトレーニング等をしている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・送迎から個別支援まで事前に分担確認がある。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	・支援後は時間が取れない。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・年2回以上のモニタリングにより見直しを行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	2		複数の項目を組み合わせさせて支援を行っていきたいと思います。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・その子の何気ない発言を拾うようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・協力医療機関あり。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・一部の学校とは情報共有が出来ているが、分からない所は保護者の方からの情報提供で対応。 ・トラブルの際の連絡は電話で対応している。 ・下校後の予定を学校側が把握しておらず迎えに行くとすでに下校していることがあった。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	保育園などからは情報共有できていない。 （新一年生からの利用が少なかったため）今後共有に努めていきたい。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	話があった場合情報共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	交流の場がない。	今のところ交流の場がないが、今後検討していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	支部会に参加している。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	お迎えの際子供の様子を伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	今のところ研修の機会を設けられていない。	必要に応じてペアレントトレーニング等対応を検討したいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約の際に行っている。	今後も丁寧な説明を行いたいと思います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4	保護者の意見で必要ないという意見があるため、保護者会の開催はできていないが、プール見学会など保護者の交流の場を作っている。	保護者の意見を聞き、要望があれば検討したいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	4	情報共有されていないこともあり迅速に対応できないこともある。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	ホームページ上にブログを使い発信している。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	地域住民の招待は体制が整っていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		入り口付近にマニュアル等を置き、保護者の方が見ることができるようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		避難訓練は年2回以上の訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に服薬やてんかんなどの情報を確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギーの一覧表を作り活用している。 契約時にアレルギーの確認をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットがあった際はミーティングで共有している。	

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	定められている年1回以上の研修をおこなっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	契約の際保護者には、やむを得ず身体拘束をする場合の説明をしている。 ミーティングの際や研修会で情報共有をしている。	